

## 履修方法

保健医療学研究科【博士前期課程】

## 専攻分野・教育課程等の概要

保健医療学研究科保健医療学専攻には、鍼灸学分野と柔道整復学分野を設けています。

## ■鍼灸学分野

鍼灸適応疾患の中でも、特に筋骨格系疾患、高齢化に伴い増加している慢性的な疼痛疾患や不定愁訴、および女性特有の疾患や愁訴を対象とし、これらにかかわる高度な専門的知識や鍼灸の治療技術を習得していく。同時に、これらの疾患や愁訴に対する鍼灸治療の臨床効果とその医科学研究方法について探究し、また臨床生理学的手法を用いた鍼灸の神経機能に及ぼす作用機序について追究していく。

## ■柔道整復学分野

日本における伝統的治療技術である柔道整復術は、主に骨折、脱臼、捻挫、打撲を施術対象とし、保存的治療がなされる。これらの外傷をバイオメカニクスの研究手法や超音波画像観察装置、その他の機器を用いて現代医学的観点から科学的に解明するとともに、柔道整復術に関わる主要な書籍の検証や柔術・柔道との関わりを追究していく。

## ■共通科目

大学院における研究活動に不可欠な文献検索法や統計学、研究デザイン作成法などを学びます。学部で修得した専門基礎科目を高度化し、臨床研究の基盤となる医科学的知識を学修します。

## ■専門科目

研究領域にそって3科目を選択。鍼灸学・柔道整復学それぞれの分野における先駆者の一員を目指し、学術の理論と応用を発展的に究めます。

特別研究に必要な知識・研究法も学修し、修士論文につなげます。

## ■特別研究

研究領域として鍼灸学と柔道整復学の2領域を配置しています。

特別研究の指導教員が提示する研究分野から研究テーマを選び、各分野において医科学研究に関する知識や技能を修得します。

## ■授業科目一覧

区分	授業科目	開講年次	単位数	
			必修	選択
共通科目	保健医療学研究法	1年次前期	2	
	解剖学特論	1年次前期		2
	解剖生理学実習	1年次後期		2
	生理学特論	1年次前期		2
	免疫病理学特論	1年次後期		2
	薬理学特論	1年次前期		2
	伝統医学特論	1年次後期		2
	外傷学特論	1年次前期		2
	健康管理学特論	1年次後期		2
	女性医療学特論	1年次前期		2
	健康科学特論	1年次後期		2
	スポーツ医科学特論	1年次前期		2
専門科目	鍼灸研究法特論	1年次前期		2
	鍼灸研究法演習	1年次後期		2
	鍼灸研究法実習	2年次通年		4
	基礎柔道整復学特論	1年次前期		2
	臨床柔道整復学演習	1年次後期		2
	応用柔道整復学演習	2年次通年		4
特別研究		1～2年次通年	8	

## 修業年限・修了要件および授与される学位等

## ■修業年限 2年

## ■修了要件および授与される学位等

## 【単位の修得方法・修了要件】

共通科目14単位以上（必修科目2単位を含む）、専門科目8単位以上、特別研究8単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

## 【学位】

修了要件を満たした者に対して、修士（鍼灸学）、または修士（柔道整復学）の学位を授与する。

# 特別研究テーマおよび指導教員

保健医療学研究科【博士前期課程】

## 鍼灸学分野

分野	特別研究テーマ	指導教員
鍼灸学	疼痛性疾患及び循環障害に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	坂井 友実 教授 ● 博士(鍼灸学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	高倉 伸有 教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	消化器系疾患の疼痛に対する鍼灸治療の鎮痛効果に関する基礎的研究	田中 滋城 教授 ● 医師 ● 医学博士 ● 日本内科学会認定内科医 ● 日本医師会認定産業医 ● 日本消化器病学会専門医
	女性および高齢者に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	安野 富美子 教授 ● 博士(理学) ● はり師・きゅう師
	アスレティックトレーニングについての社会科学研究	泉 秀幸 教授 ● 博士(スポーツ科学) ● Doctor of Athletic Training (DAT) ● NATA-BOC公認アスレティックトレーナー ● (公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	肩関節疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究 運動器疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究	水出 靖 教授 ● 博士(スポーツ医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ● 特別支援学校教諭一種(理療) ● 介護支援専門員
	臨床神経生理学的手法を用いた鍼灸の作用機序および治療効果に関する基礎的臨床的研究	木村 友昭 教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	矢嵐 裕義 教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ● 柔道整復師
	鍼灸領域の感染対策に関する研究ならびに低周波鍼通電療法に関する臨床的研究	菅原 正秋 准教授 ● 博士(感染制御学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	ヒトを対象とした鍼とプラセボ効果に関する研究	高山 美歩 准教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ● 看護師 ● 保健師
	体性一自律神経を用いた鍼灸刺激による臓器機能調節に関する研究 ～循環、消化器、泌尿器、生殖器を指標に～	谷口 博志 准教授 ● 博士(鍼灸学) ● はり師・きゅう師
	がん緩和ケア領域における鍼灸に関する研究・鍼灸の「意味」に関する研究	高梨 知揚 准教授 ● 博士(人間科学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	スポーツ医科学における鍼灸に関する研究	藤本 英樹 准教授 ● 博士(スポーツ医学) ● はり師・きゅう師

# 特別研究テーマおよび指導教員

保健医療学研究科【博士前期課程】

## 柔道整復学分野

分野	特別研究テーマ	指導教員
柔道整復学	歴史的に継承されてきている柔道整復師の伝統的技法についての科学的検証に関する研究	成瀬 秀夫 教授 ● 博士(医学) ● 柔道整復師 ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	今日の救命救急法の観点から見た柔術の歴史と活法に関する研究	鈴木 秀一 教授 ● 医師 ● 博士(医学) ● 外科専門医 ● 日本呼吸器学会指導医・専門医 ● 日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医
	運動器の健康に関する研究 (外傷・障害の発生メカニズムとそれにもとづく外傷・障害予防に関する研究、有運動器疾患者に適したトレーニングに関する研究ほか)	入江 一憲 教授 ● 医師 ● 博士(医学) ● 日本整形外科学会専門医 ● (公認)日本スポーツ協会公認スポーツドクター
	柔道整復学の学問的確立のための分子細胞生物学手法による病気のメカニズム解明の基礎研究	寺井 政憲 教授 ● 博士(歯学) ● 歯科医師
	柔術・柔道と骨折・脱臼の保存的整復・固定技術との関わりについての歴史的発展からの研究	橋本 昇 教授 ● 龍仁大学(韓国)名誉博士(体育学) ● 体育学士 ● 柔道整復師
	スポーツ科学分野におけるバイオメカニクス、スポーツ障害および予防科学を中心とした柔道整復学のエビデンス確立に寄与する研究	櫻井 敬晋 教授 ● 博士(スポーツ科学) ● 柔道整復師
	障害者柔道の普及に関する研究	徳安 秀政 教授 ● 博士(医学) ● (公認)日本スポーツ協会公認柔道コーチ
	運動器の機能解剖学に基づく四肢外傷の保存療法に関する研究	中澤 正孝 教授 ● 博士(医学) ● 柔道整復師
	柔道整復術の臨床的研究 —超音波画像装置を用いた運動器疾患の研究—	福田 翔 講師 ● 博士(柔道整復学) ● 柔道整復師 ● はり師・きゅう師